

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2014-237595(P2014-237595A)

【公開日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2013-119849(P2013-119849)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/39	(2006.01)
A 6 1 K	8/06	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 K	8/42	(2006.01)
A 6 1 K	8/55	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/39
A 6 1 K	8/06
A 6 1 K	8/34
A 6 1 K	8/36
A 6 1 K	8/42
A 6 1 K	8/55
A 6 1 Q	19/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1) 炭素数8～22の直鎖又は分岐鎖のアルキル基又はアルケニル基を有する、モノアルキルグリセリルエーテル又はモノアルケニルグリセリルエーテル、(2)高級脂肪酸、(3)レシチン及び/又はセラミド、及び(4)多価アルコールを含有し、

前記(1)成分、(2)成分及び(3)成分が、水相中で ゲル構造を形成していることを特徴とする、乳化組成物。

【請求項2】

水中油型乳化組成物であることを特徴とする、請求項1に記載の乳化組成物。

【請求項3】

油相が乳化組成物全体の1～40質量%含有されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の乳化組成物。

【請求項4】

さらに、(5)各脂肪酸の炭素数が8～22の極性トリグリセリドを含有することを特徴とする、請求項1～3の何れか一項に記載の乳化組成物。

【請求項5】

皮膚外用剤である、請求項1～4の何れか一項に記載の乳化組成物。

【請求項6】

(1) 炭素数 8 ~ 22 の直鎖又は分岐鎖のアルキル基又はアルケニル基を有する、モノアルキルグリセリルエーテル又はモノアルケニルグリセリルエーテル、(2) 高級脂肪酸、並びに(3) レシチン及び/又はセラミドを、(4) 多価アルコールを含む水相に溶解させる工程、並びに前記水相に油相を加える工程を含む、乳化組成物の製造方法。